

あさぎり中学校の制服のあり方に関する基本方針

令和7年11月

あさぎり町教育委員会

あさぎり中学校の制服は、平成24年4月のあさぎり中学校の開校に合わせ、児童生徒や保護者の意見を踏まえながら、開校準備委員会で検討を重ね、制定されました。

男子は詰襟の学生服、女子はセーラー服を着用してきましたが、季節や気候に応じた快適さ、文化や性別などの多様性への配慮、経済性や取り扱いのしやすさなどについて課題が明らかになってきました。

このことから、令和7年6月に、学校関係者や保護者・地域の代表を委員とした「あさぎり中学校制服検討委員会」（以下、検討委員会）を設置しました。検討委員会では、これまでに4回の会議が行われ、新しい制服を導入する方向で、今後の検討を進めていくこととなりました。

あさぎり町教育委員会では、「あさぎり中学校の制服に関するアンケート」及び検討委員会の協議を踏まえ、下記のように「あさぎり中学校の制服のあり方に関する基本方針」を策定しました。

今後、この基本方針をもとに、中学校の制服について、町教育委員会及び検討委員会でさらに検討を進めていきます。

記

1 新しい制服の導入について

導入に際しては、児童生徒及び保護者の意見を十分に取り入れていくための時間が必要です。また、制服取扱店が準備に要するための時間を確保する必要があります。

このことから、新しい制服の導入時期は、令和9年4月を目標とします。

2 導入における配慮について

機能性、多様性などの諸課題並びに児童生徒、保護者の要望等にできる限り対応するため、以下のことに配慮しながら新しい制服の導入・選定を行います。

（1）機能性への配慮

- ・近年の気温の上昇、空調導入等による気温差に対応しやすく、また、様々な活動の支障にならない動きやすいデザイン、生地等とする。

- ・耐久性にすぐれ、洗濯やアイロンなど家庭での手入れがしやすい素材等を採用するとともに、生徒の成長に対応できる仕様とする。
- ・夏服を通気性のよいものにするなど、猛暑等に対応したものにする。

(2) 多様性への配慮

- ・スラックスやスカートを自由に選べるようにし、性別によって制服が決定されることに負担を感じている生徒に配慮する。

(3) 経済的な配慮

- ・現行の制服と同程度の価格設定を目指す。
- ・豊富なサイズ構成、安定供給、アフターフォローなどが整った大手メーカーの既製品の導入も検討する。
- ・町内の販売店でも取り扱うことができるようにする。
- ・現行制服を譲り受けて使用する予定の生徒、保護者に配慮し、現行制服と新制服の混在を認める。
- ・新制服と現行制服との組み合わせ等については、柔軟に対応することとし、導入に合わせ中学校において検討する。（例：夏用の新制服上衣と現行制服下衣の組み合わせ等）

(4) 制服の購入

- ・メーカーの対応や価格等を考慮し、令和9年度（導入初年度）から新制服だけの販売とする。

なお、現行制服については、メーカーの在庫がなくなり次第、販売が終了する。

(5) その他の配慮

- ・制服選定の際は、児童生徒及び保護者の意見が反映されるよう、制服コンテスト（制服展示会の開催、選考アンケート）を行うものとする。

3 今後のスケジュール

○制服モデル展示会の開催・・・・・・令和7年12月に予定

- ・町内小中学校等での巡回展示会の実施
- ・選考アンケートの実施（児童生徒・保護者対象）

○選考アンケート結果の公表・・・・・・令和8年2月までに公表